

科目名		建築計画Ⅰ			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	
対象学科		建築デザイン科	対象学年		1
必修・選択		必修	開講時期		前期
		単位数		時間数	
		1		16時間	
授業概要、目的、授業の進め方		<p>建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。</p> <p>1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。</p> <p>2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。</p> <p>3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。</p>			
学習目標 (到達目標)		建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築計画 (学芸出版社)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	建築計画の基本知識-1 ①単位と寸法 ・建築で使用される長さ及び面積の単位			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
2	建築計画の基本知識-2 ①人体寸法と動作寸法 ・人間工学に基づく人体寸法と動作寸法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
3	建築計画の基本知識-3 ①建築計画の進め方 ・モジュールとモジュラーコーディネーション ②建築計画の進め方 ・機能計画(ゾーニング・グルーピング) ・動線計画、規模計画 ・構造計画、設備計画、避難・防災計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	各部および単位空間の計画-1 ①各部の計画：各部の種類・寸法計画について ・扉・窓・屋根の種類、階段・スロープの寸法と勾配			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
5	各部および単位空間の計画-2 ①単位空間の計画 ・廊下・便所・浴室、各室の寸法計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
6	独立住宅の計画-2 ①独立住宅の平面形式 ・平面形式(プランタイプ)について ・日本の伝統的な住宅にみられる平面形式について ②独立住宅の事例 ・日本の代表事例、日本のその他の事例、諸外国の事例			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習	
7	独立住宅の計画-3 ①独立住宅の工法 ・住宅の工法に関する用語 ・各種工法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習	
8	独立住宅の計画-2 ①独立住宅の平面形式 ・平面形式(プランタイプ)について ・日本の伝統的な住宅にみられる平面形式について ②独立住宅の事例 ・日本の代表事例、日本のその他の事例、諸外国の事例			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習	
9	独立住宅の計画-3 ①独立住宅の工法 ・住宅の工法に関する用語 ・各種工法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
10	小テスト①②			項目1～10から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目1～10を教科書、プリントなどで復習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	期末テスト	小テスト		建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。	
10 %	70 %	20 %	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					